

経営比較分析表（令和4年度決算）

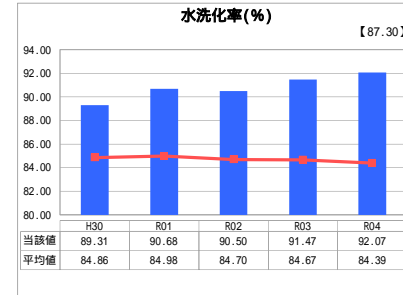
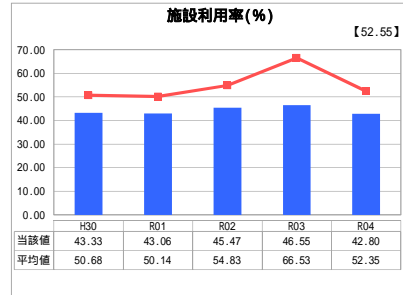
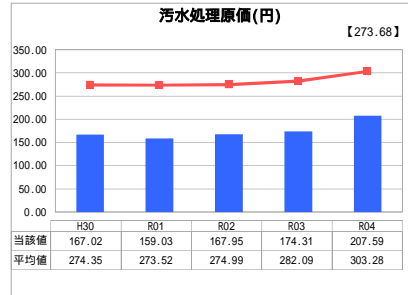
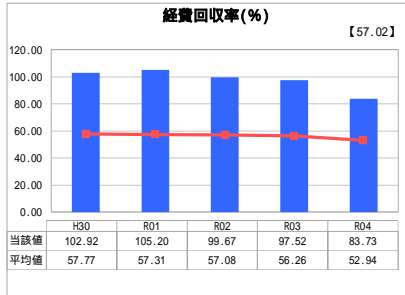
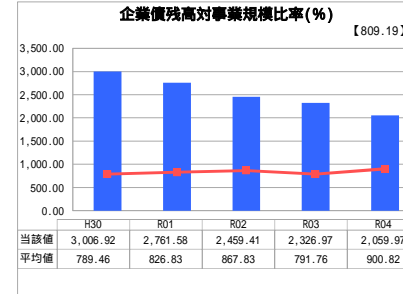
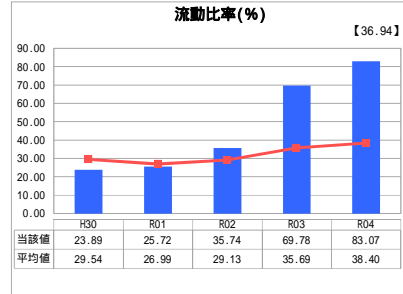
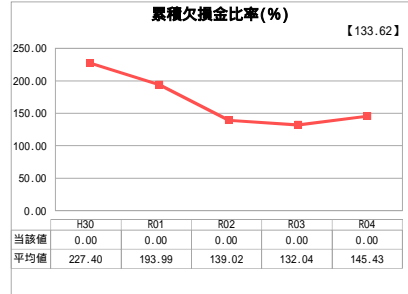
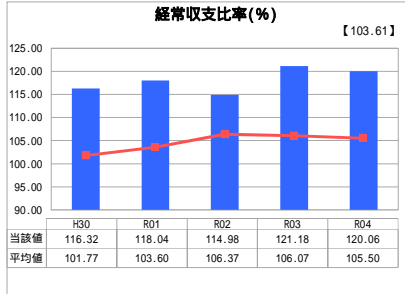
兵庫県 新温泉町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	72.28	23.09	93.54	4,950

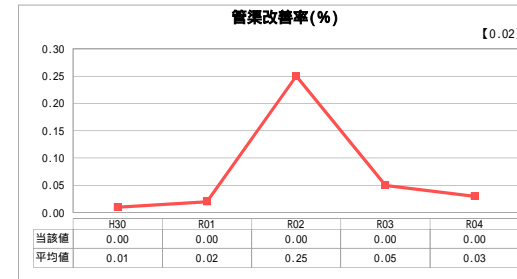
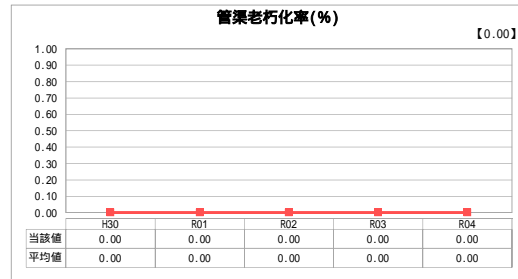
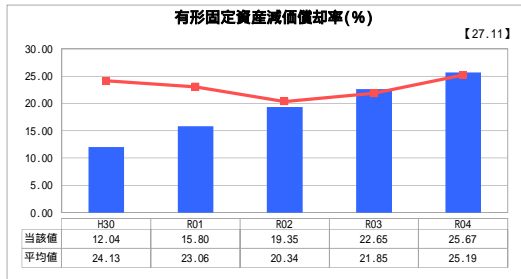
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,416	241.01	55.67
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,065	0.94	3,260.64

グラフ凡例
当該団体値(当該値)
類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率、流動比率、水洗化率は類似団体平均値とほぼ同数値か大きく上回っている。累積欠損金は当町では発生していない。企業債残高対事業規模比率は、企業債償還のピークが過ぎ下傾向にあるが、類似団体平均値と比べると高い状況で推移している。経費回収率は対前年13.79ポイントの減となった、より適正な使用料収入の確保及び汚水処理費の節減が求められる。汚水処理原価は汚水処理費が抑制されている状況にあるため、類似団体平均値を大きく下回りコスト削減がされている。施設利用率は類似団体平均値と比べ低い状況である。近年の水の使用量低下及び少子高齢化による使用者の減少等が考えられる。経営の健全性・効率性を考えるうえで、引き続き経費の節減、接続率向上に向けた検討、施設の統廃合の検討等を進めていく。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は類似団体平均値とほぼ同程度となった。施設の老朽化が徐々に進行していることを示している。管渠の更新・改良についての予定は現在なし。施設供用開始から28年を経過し、14処理区で経年劣化による修繕等を実施している。最適化整備構想を策定しており、整備計画内容の再検討等をしながら長寿命化に向けた整備を目指す。

全体総括

最適化整備構想を基に、整備計画を再検討し、投資の合理化を図り、健全で効率的な経営を目指していく。

「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。